


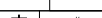

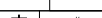

ボーリング柱状図

調 査 名 一級河川太田川水系谷尻川特定緊急砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	5	4	9	1	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シート No.

ボーリング名				Bor.No.3				調査位置				谷尻川左岸側奥部				北緯		34° 29' 42.3500"									
発注機関				広島県西部建設事務所								調査期間		平成27年 6月 9日～平成27年 6月11日				東経		132° 31' 20.2000"							
調査業者名								主任技師								現代場人		コ定ア者				ボーリング責任者					
孔口標高		DL 45.83m		<div>角 180° 上 下 0° 度</div> <div></div> <td rowspan="2">方 向</td> <td colspan="2"><div>北 0° 270° 90° 西 東 180° 南</div><div></div></td> <td rowspan="2">地盤勾配</td> <td colspan="2"><div>鉛直 90° 水平 0°</div><div></div></td> <td rowspan="2">使用機種</td> <td colspan="2">試錐機</td> <td colspan="2">東邦D-0型</td> <td rowspan="2">ハンマー落下用具</td> <td colspan="2">半自動型</td>	方 向	<div>北 0° 270° 90° 西 東 180° 南</div> <div></div>		地盤勾配	<div>鉛直 90° 水平 0°</div> <div></div>		使用機種	試錐機		東邦D-0型		ハンマー落下用具	半自動型										
総掘進長		11.00m				エンジン			NFD120			ポンプ		東邦地下工機BG-3B													

標尺	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内進捗 月日		
												深 度 m	10cm毎の打撃回数			打撃回数／貫入量	N 値	深 度 m	試験名及び結果	深 度 m		試料番号	採取方法
													0	10	20								
1									中砂主体。 φ2～10mmの角礫20%程度混入。 植物根混入。			1.15	1	0	1	2							
2									GL-1.7mより礫分増加。			1.45											
3												2.15	1	2	2	5							
4	42.18	3.65	3.65						土石流堆積物。 コア長L=70～100mm程度の玉石点在。 玉石間は、φ2～10mm程度の礫及び中砂主体。 ボーリング水の逸水見られる。 ゆるみ岩盤。 亀裂間に流入土砂。			2.45											
5	41.00	1.18	4.83									3.15	3	4	6	13							
6												3.45											
7												4.15	8	12	18	38							
8												4.45											
9												5.15	5	4	7	16							
10	35.83	2.80	10.00						GL-9.0～10.0m間、角礫状を呈する。			5.45											
11	34.83	1.00	11.00						基盤岩。 GL-10.5～10.8m間、花崗斑岩の岩脈あり。			6.15	4	5	7	16							
12												6.45				50							
13												7.00	貫入不能			50							
14												8.00	貫入不能			50							
15												9.00	貫入不能			50							
16												10.00	貫入不能			50							
												11.00	貫入不能			50							